

令和4年度事業報告書

1. 概況

令和4年度の我が国の状況は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の後、年明け以降は新規感染者数が急速に減少しコロナ禍収束の兆しがみられる中、社会経済活動の正常化が進みつつあります。一方で、世界的なエネルギー・食料等の価格高騰や海外の金融不安から景気の後退懸念は根強く残っています。

このような厳しい経済状況の下で、我が国の総人口は前年を約56万人下回る1億2,495万人となっています。(令和4年10月1日現在推計人口確定値)

また、定年後にも引き続き就労できる環境整備が進んだことなどから、シルバー人材センターの会員数は、全国的に減少を続けています。

南知多町においても、人口移動による社会増減、出生・死亡による自然増減がともにマイナスで推移しており、令和4年度末の総人口は1万6,122人で、前年度より337人減少しました。また、60歳以上の人口は7,761人で、総人口に占める割合は、前年度より0.5ポイント上昇して48.1%となりました。

平成3年の設立当時61名だった当センターの会員数は、令和元年度には143名と順調に増えてきましたが、その後はやや減少傾向に移行し、令和4年度末の会員数は、128人(男87人、女41人)で、前年度より8人減少しました。

当センターの運営については、ワクチン接種が進んだことなどから3年ぶりに一般会員出席のもと、6月に定時総会を開催し、任期満了に伴う役員改選を行い、新体制が発足いたしました。12月には会員の安全講習会を開催するとともに、地域貢献事業として事務所周辺や公共施設の草刈り・剪定などボランティア活動を実施し、地域の環境美化を推進しました。

新会長を始めとした新たな体制の下で、会員の健康と安全を最優先に、高齢者の持つ知識と経験を最大限に活用するシルバー人材センター事業の推進に取り組み、コロナ禍からの回復と経営の安定化に努めました。

当年度の経営状況は、コロナ禍や天候の影響から受託事業の受取配分金が前年度より148万3,121円減少したことから受取事務費も15万7,301円の減少となりました。一方で受取材料費は、基準額の改定により110万2,515円増加したほか、保険料の一部を会員に負担していただき、13万4,000円を正会員受取負担金として計上しました。経常収益の合計は、6,287万5,811円で、前年度に比べ40万480円の減少となりました。

経常費用については、前年度において、30周年記念事業が終わったことや、管理費の委託費を節減したことなどにより、前年度より244万7,446円減少の6,291万6,593円となりました。収支差引は、4万782円の赤字となり、当年度の正味財産期末残高は、434万7,655円となりました。

(1) シルバー人材センター事業

① 就業受注事業

就業を希望する会員に対し、各種の就業機会を確保し提供しました。

また、家事支援事業として、高齢者世帯などの日常生活を応援し、その自立した生活の継続を支援しました。

② 各種研修会・講習会、職群班研修事業

センター事業を円滑に実施するため、役員及び会員を対象とした各種研修（講習）会を始め、リモート会議等に参加し、意識啓発と能力向上に努めました。

③ 安全・適正就業対策事業

事業の実施に当たり、会員の安全意識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図り、安全かつ適正な就業を行うため、安全委員会を始め安全就業パトロールや会員講習会を開催しました。

④ 普及啓発事業

会報誌である「南知多町シルバー通信」を年2回発行し、センターの活動と運営状況を会員や関係者及び地域に広く周知し、会員の新規加入を推進するとともに受託業務の受注拡大に努めました。

⑤ 調査研究事業

例年、シルバー人材センター事業の推進と会員の能力や技術の向上を図るため、独自事業に取り組む先進団体等の視察研修を実施しておりますが、当年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、昨年度に引き続き開催を見送りました。

(2) 実施報告

① 運営体制の整備と強化

定時総会において、任期満了に伴う役員の改選を行い、会員主体のセンター運営を目指しました。

② 会員の自主運営体制の強化

会員自身がセンター事業の基本的な理念及び仕事の仕組みを理解し、自主的に事業に取り組む運営体制づくりを継続してまいりました。

③ 会員の加入促進

地域・各種団体と密接な連携を保ちながら事業の普及啓発を継続し、女性会員を始め、広く新規会員の加入促進に努めました。

④ 就業機会確保普及啓発の推進

当センターホームページを始め、年2回発行する「シルバー通信」や啓発用チラシ等により、積極的な情報の発信と普及啓発に努めました。

⑤ 安全就業・適正就業

会員の就業中及び就業途上の事故防止を図るため、安全委員会及び安全講習会を開催し、安全就業対策の一層の向上に努めました。

⑥ 会員の意識改革

安全で快適な地域社会づくりに貢献するとともに、シルバー人材セン

ター事業を広く周知するため、ボランティア活動（環境美化）に会員等30名（男性24名、女性6名）が参加し、南知多JA会館及び公共施設（豊浜防災センター）の草刈及び剪定作業などを実施しました。

⑦ 職業紹介事業の推進

県連合会と連携し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務について、職業紹介事業を実施しました。

⑧ 公益社団法人としての適正な運営

社会の変化に的確に対応し、法令順守に努め、総会、理事会等を中心に公益社団法人として適正な法人運営に努めました。

⑨ 会員表彰（定時総会表彰）

会員就業規約に基づき会員を表彰

- ・第10条第1号該当 表彰状（10年連続就業） 2名
- ・第10条第2号該当 感謝状（2期4年以上の退任役員） 5名

⑩ 会員研修会への参加

- ・剪定講習会（美浜町） 5名